

便中アデノウイルス抗原		8127000		
		担当部署		
アデノバ		微生物		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		患者自身が採取する場合は良質の検体が採取できるように適切な採取・保存方法を十分に説明し協力を求める		
オーダーング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*7.特殊細菌→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		診断は、本製品による検査結果のみで行わず、他の検査結果や臨床症状を考慮して総合的に判断すること。		
検査受付時間		8:15~16:00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		該当なし		
検体採取の特別なタイミング		特になし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 糞便	細菌 便容器3	なし		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温 採取後直ちに提出		
検体受入不可基準		1) 検査ラベルがない検体 2) 検体には糞便を用いる。 3) 尿、血清等、便以外の検体は使用しないこと。		
保管検体の保存期間		2週間（再検査・追加検査は要連絡）		

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		1～2 日				
生物学的基準範囲		陰性（－）				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		<p>アデノウイルスは呼吸器・眼・腸管・泌尿生殖器の感染症を起こす。最近ではエイズなどの免疫能低下患者における感染も増えてきた。アデノウイルスは飛沫、接触、眼の分泌物、糞便を介して感染が広がる。リンパ組織に侵入したウイルスは持続感染する場合がある。小児のウイルス性下痢症の原因として、ロタウイルスに続いて重要であり、40 型 41 型が原因となる。</p> <p>「戸田新細菌学 改訂 34 版 2013 年」</p>				